

平成 30 (2018) 年度 ラテン・アメリカ政経学会総会 議事要録

平成 30 年 12 月 2 日 (日) 12:50~13:40

議事に先立って、規約に定められた定足数を充足していることを確認した。

1. 理事長から資料 1 のとおり平成 29 年度事業報告があり、承認した。
2. 宮地理事 (会計担当) から資料 2 にもとづいて平成 29 年度会計報告があり、了承した。
3. 理事長から資料 3 に基づいて平成 30 年度事業計画の説明があり、原案どおり承認した。
4. 宮地理事から資料 4 に基づいて平成 30 年度予算の説明があり、原案どおり承認した。
5. 資料 5 に基づいて、来春に理事選挙を実施することと上智大学に選挙管理委員会をおくこと (委員長は谷洋之会員) を承認した。
6. 資料 6 に基づいて、日中韓ラテンアメリカ研究交流 (EANLAS) について浜口前理事長から提案があり、(1) 浜口前理事長の世話役への指名および (2) 若手研究者への旅費補助の二点について承認した。
7. 資料 7 に基づいて、会員の入退会動向について理事長から報告があった。
8. 資料 8 に基づいて、『ラテン・アメリカ論集』No.52 の構成について桑原編集委員から報告があった。
9. 理事長から平成 31 年度全国大会を獨協大学で開催することが報告された。
10. 元号の変更に伴い、学会の文書はできるだけ西暦を用いた方がよいとの提案があり、承認された。

審議および報告の後、研究奨励賞の表彰式が行われ、選考委員会の安井伸委員長から選考経過報告があり、内山直子会員に研究奨励賞が授与された。引き続いて内山直子会員が受賞記念スピーチを行った。

以上